

明治ビジネススクール(MBS)のファミリービジネスへの取り組み紹介とEFMD/EPASの国際認証取得の紹介

2018.3.5

明治大学グローバル・ビジネス研究科

kimura@meiji.ac.jp

木村 哲

トピック:

明治大学グローバル・ビジネス研究科のビジネス・スクール・プログラムが
2018年2月20日、EFMD/EPAS国際認証を取得



EFMD News @EFMDNews · 2月21日

We are very happy to announce that the Graduate School of Global Business, Meiji University, Japan received #EPAS accreditation for their Part-time MBA programme! Congratulations! 🏆 ✨



MBSがファミリービジネス戦略に取り組んだ契機

- EPAS国際認証の要求水準例(EPAS Standards & Criteriaより)
 - ビジネススクールのミッション・目的・ターゲットマーケット・戦略の明確化
 - カリキュラムとターゲットと戦略の一貫性及び質向上のためのPDCAサイクル
 - ILO(授業教育目標)の明確化とカリキュラム編成への利用
 - 英語科目15科目程度以上、内1科目は必修化
 - 日本語科目を含め必修科目5科目以上
 - 希望全学生が参加できる海外研修科目の設置
 - 外人教員乃至は海外で教育経験のある教員の採用努力
 - 海外大学・国際的ビジネススクール組織との交流
 - 企業セクターとのネットワーク
 - ERS(企業倫理、社会的責任、環境持続性)の授業

MBSのファミリービジネスへの主な取り組み

- 2014年度に、国際認証の要件もあり、MBS2004年4月開設以来10年経過を契機に、マーケティング戦略を見直し
- MBSにおける新戦略として、日本の事業承継問題(65歳以上経営者140万人)と明治大学卒業生50万人の中小企業経営者をターゲットとした、ファミリービジネスとスタートアップビジネスを中心にすることを決定
- 2015年度に、出口戦略としてクラスター(科目群)制度を導入し、ファミリービジネス・クラスター(科目群)とスタートアップビジネス・クラスター(科目群)を導入
- 2016年度に、MBSの理念、目的、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを、新戦略に基づき変更
- MBAとして学習すべき5科目必修化実施。税理士志望学生を中小企業経営コンサルタント人材、事業承継コンサルタント人材として養成
- 2016年～2017年度に、FB・クラスター関連科目22科目設置

続き

- SMEsにとって重要な、グローバルな視点養成の観点から、アジア・ビジネス学習のための海外研修科目強化
- FB・クラスター懇談会を開催し、四半期毎に著名ファミリービジネス経営者による講演シンポジウムを開催実施
- 2017年4月、海外から著名FB研究者を招聘しシンポジウム実施
- 2017年度青井記念講座として、代表的ファミリービジネス経営者の講演を中心に編成するオムニバス形式授業科目を開設
- 2017年11月、MBSは、香港科技大学とTANOTO CENTER FOR ASIAN FAMILY BUSINESS AND ENTREPRENEURSHIP STUDIES とファミリービジネスの共同研究に関するMOUを締結
- 2018年5月、MBSは、AIM(Asia Institute Management (フィリピン))とファミリービジネスの共同研究に関するMOUを締結予定

ファミリービジネス人材養成2年間履修モデル(2017年度)

		Family Business Learning Model Sample	category	Cluster
1	1semester courses	Introduction to Management	C-M	
2		Fundamentals of Accounting	C-A	
3		Fundamentals of Marketing	C-K	
4		Family Business	S-M	F
5		Family Business Management	S-M	F
6		Organizational Behavior	S-M	
7		Marketing Research	S-K	
8		Family Business Finance	S-F	F
9	2semester courses	Global Business Research 3	R-M	
10		Introduction to Financial Modeling	C-F	
11		Global Business Studies	C-E	
12		Managerial Succession	S-M	F
13		Strategic Marketing	S-K	
14		Accounting for SME's	S-A	F
15		Applied Tax Management	S-A	F
16		Business Analysis	S-A	
17	3semester courses	Thesis Tutorial 1	thesis	
18		Case Studies 1 (Management)	S-M	F
19		Case Studies 2 (Management)	S-M	F
20		Distribution Management (Family Business)	S-K	F
21		Case Studies(Family Business)	S-A	F
22		Case Studies (Family Business Finance)	S-F	F
23	4semester courses	Thesis Tutorial 2	thesis	
24		Startup Business	S-M	
25		Brand Value Management	S-M	F
26		Strategic Management	S-M	
27		Management Control	S-A	

ファミリービジネス戦略の成果について

- まだ緒に就いたばかりであるが、ファミリービジネス経営者(起業家も含む)志望学生及びファミリービジネス・コンサルタント関連志望学生が徐々に増加の傾向。
- 現状は、定員80名の内ファミリービジネス関連志望学生が半分を超える状況か。
 - ファミリービジネスの経営者乃至はその家族及び起業家志望学生約15名
 - 企業経営コンサル系や、銀行・保険・証券・ベンチャーキャピタル等金融機関勤務で事業承継コンサルを志望する学生約10名
 - 税務方面からの中小企業経営コンサルタント及び事業承継コンサルタント志望学生約15名
 - 中国を中心とした海外留学生(約15名)の内、親族が経営者である学生約5名

MBSのEFMD/EPAS国際認証取得トピックの紹介

- MBSの国際認証の意義の考え方
 - 国際的に一流のビジネススクールと認められるためには、必須資格。
 - 国際認証を持たないビジネススクールのままでいることは、国内的にも学生からみた魅力度が下落し、大きな事業リスク。
 - 国際認証機関は、日本の大学基準協会と異なり、あるべきビジネススクールの概念を提示し、それに向かってのコンサルタントを行っているビジネスモデル。あるべき方向の押しつけがましさはあるものの、ビジネススクール経営の改善方法を知ることができる。

表面的なEFMDのEPAS国際認証取得費用

ADMINISTRATIVE FEES

Application Fee

€ 6,580

*Invoiced upon receipt of a formal application to EPAS.
For accredited programmes, due at the time of starting the re-accreditation process.*

Eligibility Fee

€ 6,580

*Invoiced only upon a **positive** Eligibility decision by the EPAS Committee and due 30 days after the date on which the Committee granted Eligibility.
This fee is charged **only** to Institutions in the initial accreditation cycle, not to those starting a re-accreditation cycle.*

Review Fee

Review of first programme (or programme set)

€14,100

Review of second programme (or programme set)

€ 3,760

Due 30 days before the programme is due to be presented to the EPAS Accreditation Board for (re-)accreditation.

Accreditation Fee

1st programme:

€ 940 per year or

€ 4,700 for 5 years

€ 2,820 for 3 years

実際の費用

- EPASの国際性基準を満たすためには、アジアビジネススクール協会(AAPBS)の大会参加、海外大学との交流、EFMDの国際会議や大会への参加、EFMDのEPAS取得のためのセミナー参加、海外研修科目3科目程度の引率教員渡航費及び講師謝礼、海外大学から講師招聘、等の費用が毎年約500万円程度必要。
- 実地調査評価年度においては、評価委員が海外から3名来日、日本から1名参加合計4名の海外渡航費と約5日間のホテル代、食事代が発生。ヨーロッパからビジネスクラスで来日するので、合計約350万円程度の費用。別途、実地調査年度あるいは前年度に、アドバイザーが海外から来日するので、約80万円の費用。
- 英語資料作成が基本であるので、Self Assessment Report(自己点検報告書)の英語翻訳費用、授業資料英語化翻訳費用、ガイドブック英語化費用、学生便覧翻訳費用、ホームページ英訳費用、500万円程度。
- ざっくりの印象では、担当職員アルバイト費用まで含めれば3年間で約3000万円

明治ビジネススクールのEPAS国際認証取得のスケジュール

- 2013年11月 : 2014年度にEPAS申請をするための学内予算申請
- 2014年4月 : EPAS審査申請のための2015年度予算認可。
- 2015年1月15日 : EFMDにEPAS取得審査申請
- 2015年1月末 : EFMDからEPAS取得審査申請受理の通知

-----約2年間で、EPAS要件審査対象項目の体制構築-----

(当初実地視察評価委員来日予定は 2017年2月7日～8日。青井先生ご逝去により特別に半年延期承認)

- 2017年6月 : EPASアドバイザーとしてオーストラリアLatrobe大学
Drake教授来日
- 2017年8月10日 : 自己点検報告書提出
- 2017年10月12日～13日 : 実地視察評価委員4名来日
- 2018年2月20日 : EPAS認証取得

MBSにおける国際認証取得のための主な準備作業例

1. 英語科目15科目以上、且つ英語科目1科目は必修化
2. ほぼ全学生が参加する海外研修科目設置
3. ホームページ、ガイドブック、学生便覧、全科目シラバスの英語化(審査時点)資料作成
4. 明確なミッション・教育目標と戦略の策定
5. ミッションと戦略とカリキュラムの一貫性を実現する全科目ILO体系構築
6. 実地調査の際の10科目程度のサンプル授業資料の英語化
7. 質保証体制のPDCAサイクル構築に、在学生及びOB代表との意見交換会導入、外部アドバイザー制度の導入、全科目学生評価スコア方式採用
8. 教員相互授業訪問制度の設置による教育の質保証体制構築
9. 企業倫理・社会的責任・サステナビリティの講義体制構築
10. 教員の研究業績の把握と英語化、及び海外ジャーナル投稿体制推進策
11. 企業ネットワーク強化推進策、企業寄付金増加
12. 卒業生で起業した者の把握、卒業生で中堅以上の企業の経営陣に就任した者の把握
13. 海外大学勤務経験のある教員、できれば外人教員の増加策
14. 落伍学生をサポートする体制の構築

The European Foundation for Management Development (EFMD)のEPAS国際認証

- ヨーロッパ・アジア中心の国際認証機関EFMDには大規模向けと中小規模向けの二つのビジネススクール認証がある。
- ⇒大型向けの認証であるEFMD Quality Improvement System (EQUIS)は、ビジネススクール+エグゼクティブMBA等を認証する。教員25名以上を要件とすることから、MBSには不向き。約40か国140ビジネススクールが認証取得。ケンブリッジ大ジャッジスクール、INCEAD、IESE、LBS、北京大学、清華大学、香港大学、KAIST、高麗大学、延世大学、等。日本では慶応ビジネススクールのみ。
- ⇒EFMDのEFMD Programme Accreditation System (EPAS)は、中小規模ビジネススクール専攻単体を認証する。2018年1月現在、82スクールが認証取得。MBSはEPAS取得戦略を選択。

The Association to Advance Collegiate Schools of Business (AACSB)

- 米国中心の国際認証機関AACSBは、大規模ビジネススクールを認証対象とする。学部からの関連、ドクター教員の数と質の維持にこだわる特徴。ただし、最近では小規模ビジネススクールも対象にしつつある。1916年ビジネススクール会員組織設立。1980年から認証開始。50か国672大学が認証を取得。ハーバード、MIT、等IBリーグも含め、全米のほとんどのビジネススクールがAACSBの認証を得ている。英国でもロンドン・ビジネススクール等はこの認証も得ている。ケンブリッジ大、オックスフォード大は参加していない。
- 数年前までは中規模ビジネススクールであるMBSは対象外。